

Sport Utility Cruiser TOYOTA PONAM-31 Debut!!

in 第一ホテル東京シーフォート



開発者と参加者の懇親会には豊田社長も登場!!

取材協力 トヨタマリン営業所 愛知県蒲郡市海陽町2丁目1
TEL 0120-532-451 URL www.toyota.co.jp/marine/



第一ホテルシーフォートで行われた新艇発表会には各方面のメディアが多数集結し、改めてトヨタマリンが発表したポーナム31の注目度の高さを実感出来た。



その後開催された懇親会にはトヨタ自動車の豊田社長が登場!!集まったBOTY(ボートオブザイヤー)やマリンメディアとの会話や意見交換を楽しんでいた。

新たな可能性を秘める最新モデルのお披露目だ。10月10日(金)、東京都品川区にある第一ホテル東京シーフォートでトヨタ自動車が新たに送り出す新型ボート『PONAM-31』の発表会が開催された。トヨタマリンの現在の最新艇ラインナップはラグジュアリーフィッシングクルーザーとしてクルージングからトロリングまでスタイリッシュに楽しむ事が出来るポーナム28L、フライブリッジが付いて、トロリングやボートフィッシング、開放感溢れるクルージング等にオールマイティに対応してくれるポーナム28Ⅲ、プレミアムクルーザーとして、キャビン内に漂う非日常を感じながらロングクルージングやトロリングを楽しめ、TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)を使用したボートフィッシングを通じて海の楽しさを感じさせてくれるポーナム35の3種類だ。そして今回新たに最新艇ラインナップに登場するのは、31フィートのポーナムである。今回の発表会にはマリン系のメディア以外にも各方面か

ら大勢取材に来ており、改めて『トヨタ』の発表する新たなボートに対する関心の高さを感ずる事が出来た。おそらく取材に訪れた多くのプレスが、トヨタが今回はどんなものを作ったのだろうか?そんなワクワク感を感じていたに違いない。そして皆にそんな思いを抱かせてくれるのが、ものづくりのプロ集団『トヨタ』であると思う。発表会の後に開催された懇親会には、トヨタ自動車の豊田社長がサプライズで登場し、参加したBOTY(ボートオブザイヤー)やマリンメディアへ挨拶し、終始穏やかな表情で懇談をされていた。豊田社長が自らこうした場に登場し、思いを伝える事で参加者やプレスにもポーナム31に込めたトヨタ自動車の並々ならぬ思いを感じ取れたのである。懇親会が終わると、会場から歩いて桟橋に移動し、ポーナム31の試乗が始まった。桟橋にはポーナム31が2艇とポーナム35の2艇が用意されており、編集部も試乗させて頂く事が出来た。待ちに待ったポーナム31に試乗する時



TOYOTA PONAM-31

全長:10.57m、全幅:3.20m、総トン数:6.6トン
 エンジン名称:M1KD-VH、エンジン出力:260PS×2基
 燃料タンク容量:620L、清水タンク容量:110L
 定員:12名(FB5名)、航行区域:沿海

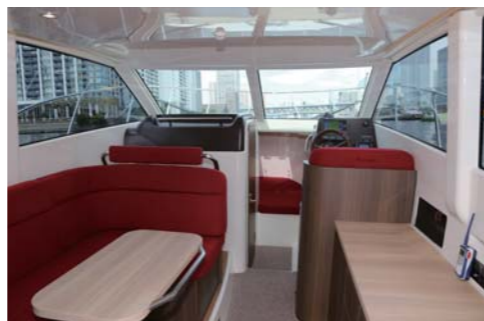
Price: 29,700,000円(税抜)



ポナム31のプロダクトストーリーが見れる!!
 バーコードリーダーで動画をチェックしよう!!



オーニングの付いていないタイプも公開され、様々なスタイルでの楽しみ方を提案してくれていた。当日は人気シリーズのポナム35も試乗艇として登場した。



参加者は5班に分かれてポナム31に試乗し、それぞれの視点で発表されたばかりのニューモデルを真剣な眼差しで見つめていた。このボートは走りの楽しさを非常に体感出来るボートであるが、高い居住性能も忘れてはならない。フライブリッジの開放感、幅も十分なキャビンはボートステイも楽しませてくれるのである。

がやってきたのだ。まず、このボートに乗って感じた事は、走っていて本当に楽しいということ。最高38ノットを誇る抜群の加速感は260PSのエンジンを2基掛けしており、185PSの2基掛けであるポナム28Ⅲと比較してみても、より走りの楽しさを感じる事が出来る。そしてハンドルを回した分だけ回ると表現される程の旋回性能は、自分が思うままにボートを操船していると感じられる部分で、是非試乗会等で乗った際に感じて欲しい部分だ。そして、馬力だけで無く、燃費に関しても63L/1h(巡航30ノット時)を達成しており、燃料タンク容量も620Lあるため、長時間の釣りやクルージングも可能だろう。フライブリッジに

は後方に3人並んで座れるゲストシートも完備している他、ヘルムステーションにはTVASも搭載されており、ボートフィッシングを思う存分楽しめそうである。このサイズにTVASが付いている事は、ボートフィッシング好きには堪らない要因だろう。キャビンはレッドを基調に上品にデザインされており、シートレイアウトも非常に効率的だ。横幅、高さもしっかりと確保しており、友人やゲストが複数乗船してもストレスを感じにくいだろう。これならボートの中で仲間とゆっくり寛ぐには十分な広さである。とうとう発表されたトヨタマリンのニューモデルポナム31。今後も全国各地で大きな注目を集めることは間違いないだろう。

